

議 長	副議長	局 長	書 記	書 記

(様式2)



令和 7 年 3 月 26 日

香美市議会議員 小 松 紀 夫 様

会派及び代表者
(または議員名)

西 村 剛 治



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

1. 日程
 - 令和6年10月21日 ～ 令和6年10月22日
2. 場所
 - 徳島県神山町
3. 目的
 - 視察／神山町の地域活性化、地産地食の取組み
(企画／高知オーガニック議員連盟)
4. 該当する政務活動費の使途項目
 - 研修費 (区分：参加費、宿泊費)
5. 支出経費
 - 33,000 円
6. 参加議員名
 - 西村剛治
7. 調査研究成果の概要、所見

別紙 参照
8. 成果物、資料等

日程表、プログラム等
9. 特記事項

なし

(裏面)

支出経費の内訳と金額 (最終)

区 分			金 額
交 通 費	鉄 道	自 至 往復	
	船	自 至 往復	
	航 空	自 至 往復	
	バス・ タクシー代	自 至 往復	
	借上料	自 至 往復 km	
宿 泊 費		WEEK 神山 (1 泊)	14,300 円
参 加 費			18,700 円
駐 車 場 代			
資 料 印 刷 費			
会 場 費			
講 師 謝 金	謝礼金		
	鉄 道	自 至 往復	
	船	自 至 往復	
	航 空	自 至 往復	
	バス・ タクシー代	自 至 往復 km	
	宿 泊		
	食事代		
	借上料		
合 計			33,000 円
(特記事項)			

R6 10/22~23 神山町視察

【所見】

「奇跡の町」と呼ばれている、徳島県神山町へ「高知県オーガニック議員連盟」議員とともに視察を行った。この視察の特徴は、食と農の視点をスタートにしつつ、まちづくり、教育、移住促進、人材育成と広がり繋がりを実現している神山町の過去と今をじっくり学べるよう、地元のコーディネーター（移住者）にプログラム作りを依頼して、行政視察とは異なる民間側住民側目線で動いている様々な取り組みを知れる機会となった。

元々財政的にも立地的にも豊かな町とは言えなかった神山町が、現在のような新しい事業が生まれる町に変わっていった歴史は以前から興味があった。この町は他の市町村と同様に2000年以前より町おこしの多くのアイデアを出し取組みをしてきたが、当然ながら全てが成功するわけではない中で、今のように複数の取組みが実を結びはじめるまでには、いくつかの転換点と「奇跡の町」とよばれるまでにふさわしい筋の通ったストーリーにあるのを感じた。特に重要なポイントだと感じるのは「人の想い」がストーリーを作ってきたことであるが、それは一人のスーパーマンの話ではなく、町を愛し町を楽しくしたい「多くの人の想い」の結晶であったことを異なる立場の複数の方からお話を聞いてみて感じた。

キーマンの一人に挙げられる前町長（後藤正和氏）の町にとことん向き合う熱意と、新しいことをやり続けるという精神が、少しずつ地元の若い世代の意識を変え、いつしかチャレンジする土壤が出来上がり、その上に移住者や企業が外からの風とともに様々な種を運んできて、少しずつ神山の土に馴染み、芽を出し始めた。そんな光景が目に見えた。「奇跡」というのは決して大げさではないとも感じた。

一方で香美市は、はっきり言えばとても恵まれている自治体であると感じた。そのことが行政職員が住民と一緒に汗をかいて土を耕す意識や、空を見上げて共に風を待つ余裕を持つことが出来ずにいるのを感じた。香美市もこの小さな町から、謙虚に多くの事を学ぶべきである。

【概要】

《DAY1》

●フードハブ NPO 法人まちの食育教育 =いただきます。がつづく世界を=
・奇跡の町…とは言うけれど（まちづくりはじめて30年!）

- ・まちを将来世代につなぐプロジェクト（創生戦略）
- 「フードハブプロジェクト」誕生 計画が良くても実現されなければ意味がない
- いいプロジェクトにお金をつける？→かま屋、かまパン&ストア ※お財布は一つ
- 地産地食（小さいものと、小さいものをつなぐ）
- ・望ましい状況 → 必要な施策領域 ※見える動き方

2016～ ★県立農業高校の魅力化（+ 保小中校の連繋）スタート

※2020年に廃校の予定だった

「そだてる、あじわう、つなぐ」

・町内スタディーツアー開催 町内の先生方対象

→先生みんなでごはん 年一回

→スタディーツアー（神山プロジェクト）→町長にプレゼン

※先生の移動があってもコーディネーターが6年継続（把握）させる →カリキュラムの設計

- ・2019 学科再編 ※行きたい学校にする！寮／2～3 割が市内に住んで通っている
- ・そだてる 小/畑 高校生/小麦
- ・あじわう 現場で、食堂で
- ・つなぐ 昔の知恵、資源の循環 安心安全
 - ※小5「体験」→中3「風景の見え方が変わった」理解、想像できるようになった
 - ※先生の振り返り フィードバック？（先生の声から→カリキュラム化！された）
- ・「食育」△「食農教育」 生き生きとした教育にする →★種を継ぐ もち米、大豆、小麦

2022「NPO まちの食農教育」※法人からドロップアウトした（会計も別）

- ★NPO なら動きやすい →町の委託事業
- 必要な人 スクールフード・コーディネーター、ファームティーチャー
 - 先生から「防災訓練炊き出しの食材をつくれない？」
- ・ロードマップ 同じ言葉が話せる環境づくり
- 小学生版 中学生版 行政版
 - ★スクールフードフォーラム 2023 QR
 - ※学校に入る（学校の言語、文化を理解する）
 - ※地域 CS コーディネータ（文科省）に動いてもらうのが早い（農業知識）

●「神山の軌跡を辿る」後藤正和前町長

- ・人口 4700 人の町が「奇跡の町」と呼ばれるまで
- ダイヤログ・ハブ神山合同会社 本重さん

0.0 アリスの里帰り

1.0 ア티ストインレジデンスで町に変化

2.0 ウェブサイト「イン・神山」2008 年 移住、空き家の問い合わせが多数！→ 最終的に 12 億！（34 億の基金持っていた、今 100 億ある）光できていたので

多様性を生む移住政策

- ①移住者希望登録 →ワークインレジデンス【逆指名】エンガワオフィス、COCO 歯科、オーダー靴 アイディアキラー出現「神山ではこれやめよう」できない理由よりできる方法を考えよう JUST DO IT とにかくやってみる「やったらええんちゃうん」

3.0 コワーキングスペース

神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス

KamiyamaMakerSpace

レジデンスによる多彩な人材の集積 移住者（風の人）+地元（土の人）

フードハブ・プロジェクト しずくプロジェクト 神山まるごと高専

※上勝町との違い

4.0 神山番地方創生戦略（2015 年）40 代以下で考える

KPI 社会人口 11 人/年増！

- ①実践していく公社を作る 町 + NPO グリーンバレー →（社）つなぐ公社
- ②プロジェクトを実行していく

5.0 神山まるごと高専プロジェクト（2019）2023 年開港

βメンタリティー（成長し続ける！）

学費の無償化 10 億×11 社 →基金 →学費 200 万、寮費 100 万

人材集積と 地域内経済循環をベースにした地方創生

●後藤町長 町議 16 年(37 歳) 町長 20 年

- ・行政は仕掛け人、黒子 主役は町民住民
- ・37 歳で町議 きっかけ 大山町(梅栗植えてハワイへ行こう!)の梅は神山だった
 - ※当時はあおいダイヤと呼ばれていた
 - 大山町(6 次産業まで)一方神山町は…(1 次産業のまま) ショック!
 - かつては農業が盛ん、銅山があった(当時は 1 万 7 千人)
 - 町長選挙(中学校を 1 校にする!) 現職町長が落選 町民の溝が非常に深かった!
 - 無投票で当選 →溝を埋めるチャンス
 - 平成の大合併 相手は石井町、徳島市… JA と一緒に、大きくなれば住民は離れていくあ

●城西高校神山分校 問題

- ・残さないと定期バスがなくなる!

●創生戦略 ワーキンググループ 50 歳以下 28 人

- 行政職員(若手手上げ)、移住者(アプローチ)、住民(すでに活動している人) アイディアキラー × 町内ツアー(つなプロ)実施
 - ※ある程度町おこしの取り組みが進んでいた段階だった
 - ※批判的だった人、高齢者が応援してくれるようになった つなプロ報告会、高専卒業式
- ・水資源の確保 使われない山、針葉樹を広葉樹に

《DAY2》

●フードハブ・プロジェクト

- ★白桃薫(しろもも)40 歳 神山出身 6 人家族 東京農大 町役場 16 年(農・林担当)
 - ※5 年間つなぐ公社に出向させてもらった(農業担当)
- 『フードハブプロジェクト』→「循環の仕組みづくり」地域外に流出しない(40 歳以下ワーキンググループで真鍋(移住者)生まれた) ※真鍋太一(株)モノサス

- ・地域で育てた農産物を機域でおいしく食べる仕組みが必要
- ・料理人が地域の食や農の可能性を開いていく(地元の人には「変換」が必要)

【地産地食】 小さいものと、小さいものをつなぐ FarmLocal

★稼ぎながらどうやって持続させていくか

- 1, 社会的農業 2, 食堂、パン屋 3, 食品店 4, 加工場 5, 学校給食
 - ※ 2022 年「食農教育」部門が NPO で独立
 - ※食育から食農へ …ものの裏側を想像できる子どもたちを育てる

2022~ 「給食センター」調理、一部食材調達

- ※公立の学校給食会 業者が手を引く傾向(採算が合わない)

2023~ 神山まるごと高専 寮の「食堂運営」

【神山まるごと高専】2023 年開校 起業家が心からほしいと思う学校を作る

- ・給食 平日、3 食(700 食/日) ※3 食 1000 円ちょっと
- しっかりした基本理念 運営体制

「まるごと高専の給食」

- ・朝食 セルフ式 7:30～
- ・昼 定食、丼 12:15～13:30
- ・夜 定食、丼 ※アレルギー
- ・『産地食率』

★「地産地食率」日本一を目指す」…ために

①仕入れ(通常)

レシピ → 調達△

②仕入れ(LOCAL)

調達 → レシピ◎

- ・可能農産物からの献立作成すると「達成率」が変わる!
- ・LOCAL AND ORGANIC ※オーガニックと言い切らない

★今後に向けて …ないものは作る(作付け、商品開発)

※仕入れチームのコミュニケーションが重要

生産者との交流イベントなどの開催

郷土料理、多国籍料理 (本物を食べてもらうために地産地食率は外す)

★残食量 栄養摂取量

※みかんの皮、 ※牛乳は自由選択

※残ったら料理に使う

【知産地食の給食≠有機給食】→★地域で持続可能な給食の形 ※感謝、リスペクト

★産食率:産食率を高めた要因

- ・生産 農家、畜産、漁師、
- ・流通
- ・企画 ★クライアント(高専)、△管理栄養士、
- ・調理 ★料理人、△調理人
- ・食べる人 子ども、保護者

※だれが「ヨコ串」を入れるか 他者へ理解 ★アプローチ(料理人)

※CCCP JAPAN「給食だんだん」 ※学校給食を調理師と栄養士が変えていく

POINT…コツコツ見直しをしていく!

- ・神山町の農業構成 すだちがほとんど それ以外の農家には
- ・防災 高専/自分たちの食糧確保も考える
- ★熊本/黒川温泉 地産地食のパン屋

●デジタル生活浸透 PJ

イツモスマイル株式会社/サークル神山ラボ 駒形さん

(新潟出身、アーティストインレジデンスきっかけ、町役場へ→2年前イツモスマイル株式会社)

・前世代型豊かなデジタル生活浸透プロジェクト

※デジタル田園都市補助金(優良モデル) 950台 65歳以上がいる世帯に配布

①新たな地域交通の変革

②地域アプリ「さあ・くる」の開発・実装 →つくったものを横展開(他自治体に販売!) マネタイズ

③高齢者のデジタルディバイド対策

①地域交通 町営バス廃止 R5,4 →「まちのクルマ Lets」制度(町 85%、利用者 15%)

料金はタクシーメーター基準(タクシーチケットなくした、ペーパーレス)

※在来線守る定期券助成と並行

※85%バス料金よりちょっと高い料金設定

※上限 8000 円(病院まで)

公共交通のスタイルが変わる →移動の選択肢が増える

まちの足りないもの(ニーズ)データがわかる

※例えば、薬局、習い事 →薬局を地域に持ってきたら解決するは正解なのか??

★従来型の公共交通の維持に 4000 万~7000 万円必要

→lets7000 万円(←100%市民、まちのニーズ)無駄、高くない

・企業版ふるさと納税

・公共交通として認めてもらう(新しい取り組みとして国交省に相談)

・タクシー事業者 3 社 健康経営、仕事をつくる 白ナンバー1 種(町内限定) 個人 9 台

★マイナンバー認証 対象判断

・町の空白路線(特区)で導入も

・乗合いの条件、制限はない(子どもから、高齢者までだれでもりようできる仕組み)

※高校生が 4 人で映画見にいった 250 円! とか

POINT……使う側の自由度が高いのが好評の原因

②セット(タブレット、アレクサ、設定すべて)

相談窓口、サポート体制の充実

「さあ・くる神山ラボ」 ★神山チャンネル 高齢者みている、「楽しんでいる」 →【楽しい】

・開発期…パートナー、申請 運用期

・「20 年前」光ファイバー網をひく計画(国主導)

→ そこから 30 年後の町の姿をイメージして、政策を進めてきた! 【神山の行政】

【領収証】

領 収 証

様 No. _____

★

15,700 -

但 神山町視察費 12

2024 年 10 月 23 日 上記正に領収いたしました 登録番号 _____

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

高知市薮野中町9-15 あそびハイフ103
高知オカニク議員連盟
代表 齊藤 喜美子

領 収 証

西村 剛治

様 No. _____

¥14,300 -

但 宿泊代として

入金日 R6 年 10 月 22 日

上記正に領収いたしました
〒771-3421 徳島県名西部神山町下分字地野57

内訳	
税抜金額	¥13,000 -
消費税額等 (10%)	¥1,300 -

収 入
印 紙

WEEK 神 山
TEL 088-677-0313
登録番号 T2480001008959